

# 北陸のニッチトップ、廃棄物処理技術で ベトナム市場へ挑戦！！

(株)アクトリー(白山市) ODA 事業を受託、焼却炉普及に取り組む

国際協力機構(JICA)が実施する中小企業海外展開支援事業において、昨年 3 月に公示された「中小企業海外展開支援 普及・実証事業」(事業経費:1件あたり上限 1 億円)に採択されたアクトリー(白山市、水越 裕治社長)は、この度「ベトナム国 都市ごみ焼却・埋立地再生に関する普及・実証事業」の実施に関する JICA との業務委託契約を締結しました。事業期間は 2015 年 1 月 30 日より 2017 年 12 月 28 日までの 2 年 11 ヶ月 となります。

経済発展の著しいベトナムでは、都市ごみ発生量が増大するも、衛生的な処理方法が整備されておらず、新規処分場の確保も困難な状況にあり、環境汚染の原因となっています。この現状に取り組むため、産業廃棄物焼却炉で国内トップシェアを誇るアクトリー社は、**自社のロータリーキルン式(向流型)焼却炉**を用いた多種多様な廃棄物の混合焼却処理技術の普及によって問題解決を図るため、対象地域(ベトナム・フエ省)に実証用焼却炉を導入し有効性の検証等を行います。これらの活動を通じ、現地の廃棄物の減容化・無害化、更に埋立地の再生(最終処分場リハビリテーション)を図り、廃棄物適正処理方法を確立することで、ベトナム国における環境負荷の軽減および衛生環境改善への寄与を目指します。

本事業を通じ、ベトナム国政府の事業や ODA 事業、市場を通じて同社の製品・技術が普及するとともに、北陸地域経済の活性、雇用創出、両国の互助関係構築等につながることを期待されます。

## ➤ 『普及・実証事業』とは・・・

開発途上国へ進出を目指す中小企業からの提案に基づき、企業の有する製品・技術が現地の開発課題(途上国が抱える社会経済の問題)の解決に有用であるかどうか実証活動を行い、その普及方法を検討するものです。途上国での実証活動を通じ製品・技術の現地適合性を高め、普及のための事業化検討を行うことが可能です。